

スペシャル  
ゲストランナー  
間寛平さん



10年間の  
あゆみ

第10回 2018	第9回 2017	第8回 2016	第7回 2015	第6回 2014	第5回 2013	第4回 2012	第3回 2011	第1回 2009
実走者が2万人を突破 タレントの間寛平さんがスペシャルゲ ストランナーに。ランナー全員にエー ルを送り、大会を盛り上げる 第10回大会を記念し、オリジナルのポ ランテアウェアを作成 大会マスコットに、きびマラ犬「太郎」 を任命	公務員ランナー川内優輝選手（埼玉県 庁）、秋山雄飛選手（青山学院大当時） がハーフマラソンに参加	ハーフマラソン陸連登録者男子の部で ジョエル・ムアウラ選手（倉敷高当時） が高校生の国内最高新記録を樹立	中四国最大と呼ばれる規模の大会に 倉敷ケーブルテレビでの大会生中継 （ネット）がスタート	仙台国際ハーフマラソン大会との相互 連携に関する協定を締結したことを受 け、中学生を交互派遣。以後、さまざ まな交流を実施 そうじゃ吉備路マラソンのヘッドマー クを付けた、「JR吉備線の「そうじゃ 吉備路マラソン号」運行がスタートし、 大会をPR	実走者が1万5000人を突破 ハーフマラソンと10kmが日本陸上競技 連盟の公認を取得。山手清音をめぐっ ていたコースから、現在のコースへ	大会イメージソング「a walk in the field」 を清音柿木出身の小平伸正さんがギ ターボーカルを務めるロックバンド、 ゴーストノートが制作	実走者が1万人を突破 イベントとしてファミリーマラソンが 加わり、幅広い世代が楽しめるよう に	フルマラソンと4.5kmの2種目で そうじゃ吉備路マラソンがスタート。 3498人のランナーが吉備路を駆け 抜けた



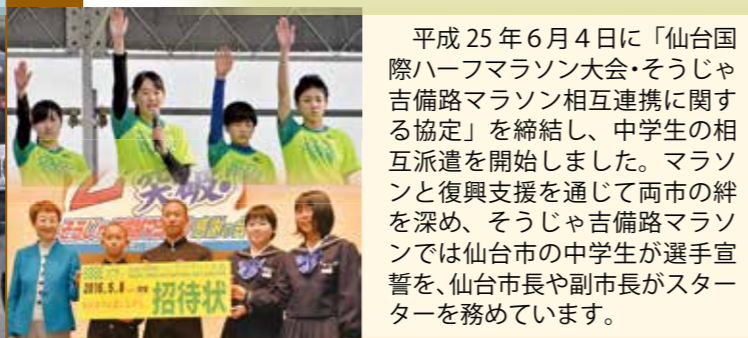
# 「吉備路」に集う

実走者数延べ **15** 万人

## 支 ボランティアとスポンサーの力



## 絆 仙台国際ハーフマラソン大会との相互交流



平成 25 年 6 月 4 日に「仙台国際ハーフマラソン大会・そうじゃ吉備路マラソン相互連携に関する協定」を締結し、中学生の相互派遣を開始しました。マラソンと復興支援を通じて両市の絆を深め、そうじゃ吉備路マラソンでは仙台市の中学生が選手宣誓を、仙台市長や副市長がスターターを務めています。

## 走 大会を彩るランナー



ランナーとボランティア、市民が一体となり、みんなで作っているそうじゃ吉備路マラソン。第10回記念となった今大会は、ついに実走者が2万人を突破しました。長年にわたる多くのご支援・ご協力・ご理解、誠にありがとうございます。これからも、より充実した大会運営を目指してまいります。

# そうじゃ吉備路マラソン 10周年

